

柴家 雪桐
SHIBAIE Yuki



「漢字(かんじ)と汉字(han zi)でいい感じ」
紙、ユリア樹脂

「漢字(かんじ)と汉字(han zi)でいい感じ」

日本には約 320 万人の在日外国人がいる。その中では、中国人が 78 万人(25%)ともっとも人数が多い。私も在日中国人である。来日以来8年間、学習、言葉、生活などさまざまな困難に直面してきた。来日まもない頃には人との交流、特に日本人との交流は言葉、文化などの影響に困惑することが多かった。自身の経験を踏まえて、社会包摂を目的にアートを広義に捉え、日本人との交流を促せるきっかけになるものを探っていった。

日本語を学習している時に中国語の漢字に対する固定観念が深い影響を受け、日本漢字の使い方、発音、意味に面白く感じるどころがたくさんある。例えば「勉強」という漢字は日本語では「学習」を意味する。しかし中国語では「いやいやながらする」といった、まったく異なる意味となる。「同じ漢字なのにどうして意味が違うの」と日本人との会話の中で漢字についての話は楽しい場面がたくさん生まれると感じる。

そこで、私は中国発祥で現在も日中の生活に根付いている「漢字」と「麻雀」に着目し、日本人と在日中国人や留学生との交流を促すための交流型ゲーム「漢字麻雀」を開発した。中国人が日本語を学習している時に使われる教科書から、日常生活によく使われる 27 組の言葉を選び、日本の漢字とふりがな、中国の漢字とふりがな、意味をイラストで示している。

「漢字麻雀」は牌型とカード型と2つの種類がある。より麻雀として遊べるのは牌型麻雀。携帯性のよいカード型の麻雀には、質問して交流をもっと促す、しかけカードを加えている。この交流型ゲーム「漢字麻雀」のルールには、全員で助け合いながら完成することに特徴がある。日本人と中国人が協力し合いながら、お互いの文化の共通点と違いを同時に知ることができる。日本で暮らす者として対等で良好な交流、関係づくりへの橋渡しの役割をするであろう。